

令和 2年 4月27日

横須賀市長 上地克明 殿

緊 急 要 請 書 (3)

原子力空母母港化の是非を問う住民投票を成功させる会

共同代表	呉 東	正 彦
同	新 倉	裕 史
同	小 林	麻 利 子
同	今 野	宏
同	三 影	憲 一

米国海軍協会の4月23日付USNIニュースによると、米海軍関係者が、USNIニュースに対して、4月23日、以下のとおり確言しました。(資料1)

- ★26隻の米海軍艦船で、コロナウィルス感染者が発見されている。
- ★米海軍全体で、4月23日朝までに、1366名がコロナウィルス陽性者であった。
- ★23日までに、原子力空母レーガンに配属されている16名の水兵がコロナウィルス検査で陽性であった。今年後半に予定されるレーガン空母攻撃群の作戦配備準備の中で、乗組員の感染防止対策をとっている。

また4月24日付星条旗新聞によると、同日国防総省の首席広報官ジョナサン・ホフマンは以下のとおり報道しました。(資料2)

- ★作戦配備中の米海軍イージス艦キッドで、少なくとも18名のコロナウィルス感染者が確認され、同艦は、閉鎖された港湾に入港し、乗組員は下船して隔離される。
- ★原子力空母ルーズベルトの感染者は840名となり、4000名以上の乗組員がグアムで隔離されている。
- ★米海軍全体で、4月24日朝までに、1445名がコロナウィルス陽性者であった。

米海軍横須賀基地内の艦船及び今後横須賀基地に入港する艦船で、タロナウィルスの感染が拡大して、横須賀市民に影響を与える危険性が高まっています。

一方、3月末に、米軍が、コロナ感染情報を非公表にして以来、米海軍横須賀基地関係で感染情報が公表されたのは、4月10日の1名のみで、それ以外の情報は全く公表されておらず、それが市民の不安を増加させています。

そこで、私達は、横須賀市に、以下の行動を緊急に求めます。

1、レーガンの感染者16名についての感染経路と現状を、至急米海軍及び外務省に照会し、また把握している情報を公表して下さい。

2、上記26隻のうちに、横須賀を母港とし、または今年になってから横須賀に寄港している艦船が含まれているか、至急米海軍及び外務省に照会し、また把握している情報を公表して下さい。

3、4月10日以降、日米合同委員会の合意に基づいて、米海軍病院等から、横須賀市保健所に提供された感染情報がありましたら、至急、全て公表して下さい。

4、米海軍横須賀基地から、自動車や徒歩で、基地外に移動している米軍関係者を、しばしば見かけます。この間の米海軍横須賀基地の外出、移動制限はどうなっており、きちんと守られているのでしょうか。

また、基地外居住者、基地外ホテルや借上住宅に宿泊している、原子力空母の定期修理作業に従事している米国人修理工については、米海軍横須賀基地の外出、移動制限はどうなっており、きちんと守られているのでしょうか。

5、ルーズベルトや、キッドと同様の事態が発生しないよう、感染が完全に収束するまで出航しないことを、市民と、その友人であるレーガンの乗組員の安全を守るため、米海軍と日本政府に申し入れて下さい。